

<報道資料>

2013年12月20日
ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社
<http://u-s-d.co.jp/>

ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社の「九州R&Dセンター」の開設に伴う 佐賀県内における聴覚障害者支援について

ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社(代表取締役:中石真一路、以下 USD)は、聴覚障害者の聴こえの改善に向け研究開発に取り組んできましたが、12月20日、健聴者と難聴者の直接的なコミュニケーションを可能とする「コミュニケーション・サポートシステム COMUOON」の全国発売を機に、公益財団法人佐賀県地域産業支援センターに「九州R&Dセンター」を開設します。

同センターでは、コミュニケーション・サポートシステムの更なる研究開発を通じ、「難聴者の皆様の聴こえのユニバーサルデザイン」を実現するため新技術の開発を行っていきます。

佐賀県での開設理由は、佐賀県が障害者福祉に熱心に取り組まれており、とりわけ全国でも珍しい障害者に特化した「就労支援室」を設け、障害者の「働きたい」を積極的に支援されていること。そして、2014年春に聴覚障害者サポートセンターを開設し、聴こえの相談等に積極的に取り組まれることなどからです。

今回の開設に伴い、USD九州R&DセンターとUSDの技術パートナーである佐賀エレクトロニクス株式会社佐賀製作所(代表取締役:石橋尚登、以下佐賀エレ)では、佐賀県の協力のもと、以下の取り組みを推進します。

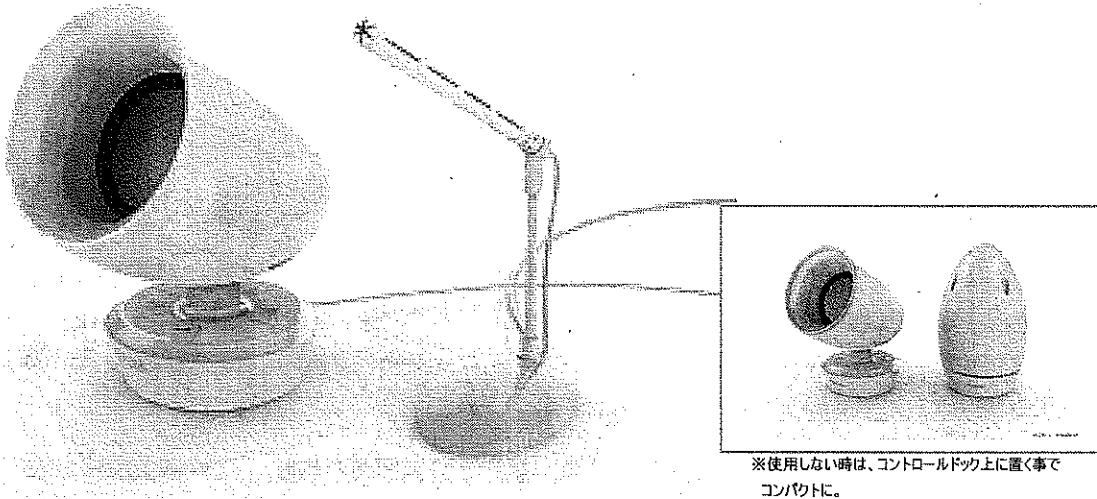
1. 聴覚障害者の社会参加を進めるための最新の聴こえ支援技術開発・検証
2. 聴覚障害者サポートセンターへの寄贈による最新の聴こえ支援技術の導入
(聴覚障害者サポートセンターでのCOMUOONの活用は全国初)
3. USD九州R&Dセンター及び佐賀エレでの佐賀県内の聴覚障害者の就労支援

本件に関する報道関係の方からのお問い合わせ先

ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社
担当:中石/TEL:03-6427-1467
〒105-0022 東京都港区海岸1-7-8
東京都立産業貿易センター浜松町館6階

<参考資料>

1.「コミュニケーションサポートシステム COMUOON」概要



●コントロールドック(アンプ)部仕様

再生周波数帯域: 20Hz~22,000kHz
信号入力: ϕ 3.5mm3極ミニジャック 入力インピーダンス: 10k Ω 以上
最大入力レベル: 2Vrms
マイク入力: ϕ 3.5mm3極ミニジャック プラグインパワー方式
実用最大出力(JEITA): 10W
T.H.D: 0.2%以下(1W出力時)
S/N比: 85dB以上(JIS-A,ライン入力)
電源: DC15V
最大外形寸法: H50.4×W86×D86mm
質量: 97g

●スピーカー部仕様

型式: 密封型
実用最大出力: 10W 8 Ω
内容積: 0.35リットル
スピーカーユニット: ϕ 60mmフラットスピーカー
周波数特性: 80Hz~20,000Hz
最大外形寸法: H133×W95×D95mm
質量: 328g
ACアダプター(3.0m×1)、マイクロショットガンマイク(1.5m×1)付属

■価格:195,000円(税別)

■本製品の開発に至る背景・意義

日本で聴覚障害者とされるのは、聴力が非常に低い人のみでありそれ以外の難聴者がどの程度存在するのか、というデータはほとんどありません、また高齢化の影響で加齢により聴力が衰えている方も多くなっています。難聴で悩む人は、ここ最近増加傾向をたどっているものの、難聴に関して社会的な理解が低いのが現状です。この状況は、「健聴者は聴こえにくいということをイメージできない」ことが大きく影響していると考えています。また同時に難聴者に言葉で伝えたいという悩みをもつ方もたくさんいることに気が付きました。

「私の父も難聴ですが、一番身近な家族でもなかなか大変さを理解してもらえないことが、難聴者の方にとってすごくつらいことなのです。聞きたいという思いがある難聴者、伝えたいと思う健聴者。両者の思いを叶えることができるだけ簡単に利用できる機器を開発したいと思ったのが本製品開発のきっかけです」(中石)

2. ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社 会社概要

「伝える、聴こえるをデザインする」。をミッションに掲げ、聴こえ支援機器の開発やプロフェッショナル向け音響機器製造販売を展開。店舗向けのサウンドプランニングやサウンドリノベーションサービスによる音環境の改善にも取り組んでいる。

商号: ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社
URL: <http://u-s-d.co.jp>
設立主旨: NPO 法人ユニバーサル・サウンドデザインでの聴こえ支援技術の基礎研究を完了し、製品化のスピードアップを行うべくユニバーサル・サウンドデザイン株式会社を設立し研究を移管
設立日: 平成24年4月6日
代表取締役: 中石 真一路
資本金: 750万
本社所在地: 東京都港区海岸1-7-8 東京都立産業貿易センター浜松町館6階
TEL03-6427-1467
大阪オフィス
大阪府大阪市西区西本町 2-1-1 6A
TEL06-6535-7017
事業内容: 聞こえ支援機器の設計・開発・販売
各種店舗、建築物及び室内空間のサウンドデザイン企画、制作並びにコンサルタント業務
スマートフォンアプリケーションの設計・開発
CSR活動 「声と音のバリアフリーをめざして」
NPO 法人ユニバーサル・サウンドデザインでは、吹奏楽演奏会を通じ「聴こえ大切さ」や「聴こえの仕組み」をお伝えしつつ、小さなお子様をもつ皆様にお伝えしています。
上記の活動に対してユニバーサル・サウンドデザイン株式会社の販売する製品の売り上げの一部を寄付させていただいています。

<中石 真一路プロフィール>

慶応義塾大学 SFC 研究所 所員(訪問) 熊本 YMCA 専門学校建築科卒業後、現場監督に従事。その後デジタルハリウッドに入学。卒業後は12年間にわたり web ディレクターおよびプロジェクトマネージャーとして、トヨタ、富士フイルム、メルシャン、マツダなど大手 web サイトなどの市場調査、サービス開発、有料モバイルサイトの立ち上げに従事。携わったサイトは、200 を超える。

携帯電話を使った QR コード会員認証システムについてのシステム開発を28歳で担当し特許出願を経験する。その他携帯紛失時の通知システムなど出願に携わった特許は5件に及ぶ。

前職の EMI ミュージック・ジャパンでは web システムの統括のかたわら、新規事業開発担当として「聴こえが気になる人でも聞きやすいスピーカーの研究開発」を提案するも事業化にはならず、EMI ミュージック在職中に NPO 法人ユニバーサル・サウンドデザインを設立し、「発話側で行う聴覚障害者向けの情報支援」という新しい分野を確立する。その研究実績が認められ、現在慶応義塾大学 SFC 研究所にて研究員(訪問)として武藤研究室にて聴こえ支援技術の研究を行っている。

当社では、代表取締役として経営全般及び、聴こえプロダクトデザインから技術開発と商品企画、パートナーアライアンス、技術営業までを担当。自らライブイベントの PA オペレーターもこなす音響エンジニアである。